

2 各種分析・統計資料

1 数字の錯覚

最近いろいろな雑誌で、自治体のサービス水準を比較した記事が掲載されています。その際に、区民1人あたりのサービス額で順位(ランキング)の比較をする例がありますが、実はこの方法では、的確な比較はできません。

各経費には、人口の規模によって変動が少ない固定的な経費が必ず含まれています。また、サービスの効率性の違いもあります。サービス水準の比較は、こうしたことにも注意をして行う必要があります。

区分	順位	区民1人あたりの 福祉関係経費 (万円)		福祉関係経費 (億円)		支出に対する福祉関 係経費の割合(%)		人口数(万人)	
上位 5 区	1位	千代田区	15	足立区	600	板橋区	36	世田谷区	81
	2位	台東区	11	江戸川区	570	大田区	32	練馬区	68
	3位	中央区	11	練馬区	570	豊島区	31	大田区	66
	4位	墨田区	11	大田区	568	練馬区	31	江戸川区	65
	5位	港区	11	世田谷区	555	葛飾区	31	足立区	64

区分	順位	区民1人あたりの 福祉関係経費 (万円)		福祉関係経費 (億円)		支出に対する福祉関 係経費の割合(%)		人口数(万人)	
下位 5 区	19位	大田区	9	渋谷区	192	港区	24	港区	18
	20位	中野区	9	台東区	189	台東区	23	文京区	18
	21位	練馬区	8	文京区	172	目黒区	22	台東区	17
	22位	杉並区	8	中央区	101	中央区	19	中央区	9
	23位	世田谷区	7	千代田区	65	千代田区	14	千代田区	4

福祉関係経費とは、普通会計民生費決算額のうち、地域性によって大きく左右される生活保護費を除くものです。

上表は平成14年度普通会計決算によります。

上表のとおり、人口の多い練馬区は、区民1人あたりの福祉関係経費の順位は21位と下位ですが、区の支出全体に占める福祉関係経費の割合では第4位となっています。

2 予算が1,000円だとしたら

もしも区の予算が1,000円だとしたら、どんな経費にどう使われているのか...

下表は、平成15年度決算（一般会計）を用いて計算しています。

区 分	金 額
議会の運営にかかる経費（議会費）	5円
安全・安心まちづくり、防災対策や庁舎管理のための経費（総務費）	72円
戸籍、税金、国民健康保険などにかかる経費（区民費）	93円
中小企業や商店街、農業のための経費（産業経済費）	11円
高齢者の方や障害者の方などの福祉や保健にかかる経費（保健福祉費）	275円
保育園など、児童青少年にかかる経費（児童青少年費）	140円
清掃やリサイクル、環境保全のための経費（環境清掃費）	54円
まちづくりのための経費（都市整備費）	27円
道路や公園の建設・管理のための経費（土木費）	71円
小・中学校、幼稚園、図書館など教育にかかる経費（教育費）	146円
区が借りたお金の返済のための経費（公債費）	85円
その他の経費（諸支出金・予備費）	21円
合 計	1,000円

3 将来にわたる実質的な財政負担

区の借金（起債残高）と将来確実な負担（債務負担行為残高）の合計から、区の預金（基金）を引いた実質的な将来の財政負担は、平成15年度末（平成16年3月31日現在）では、平成14年度末と比べて127億17百万円減りました。

（単位：百万円）

区 分		H15	対前年度
支払	地方債現在高（A）	107,544	5,441
	債務負担行為翌年度以降支出予定額（B）	30,896	7,609
	支払しなければならない額（A+B）	138,440	13,050
預金	積立基金現在高（C）	22,340	333
差引	将来にわたる実質的な負担（A+B-C）	116,100	12,717

区民1人あたりでは下表のようになります。

（単位：円）

年 度	H12	H13	H14	H15
区民1人あたり負担	210,024	192,763	192,401	171,914

人口は、各年度の初日（4月1日）現在の数値を用いています。

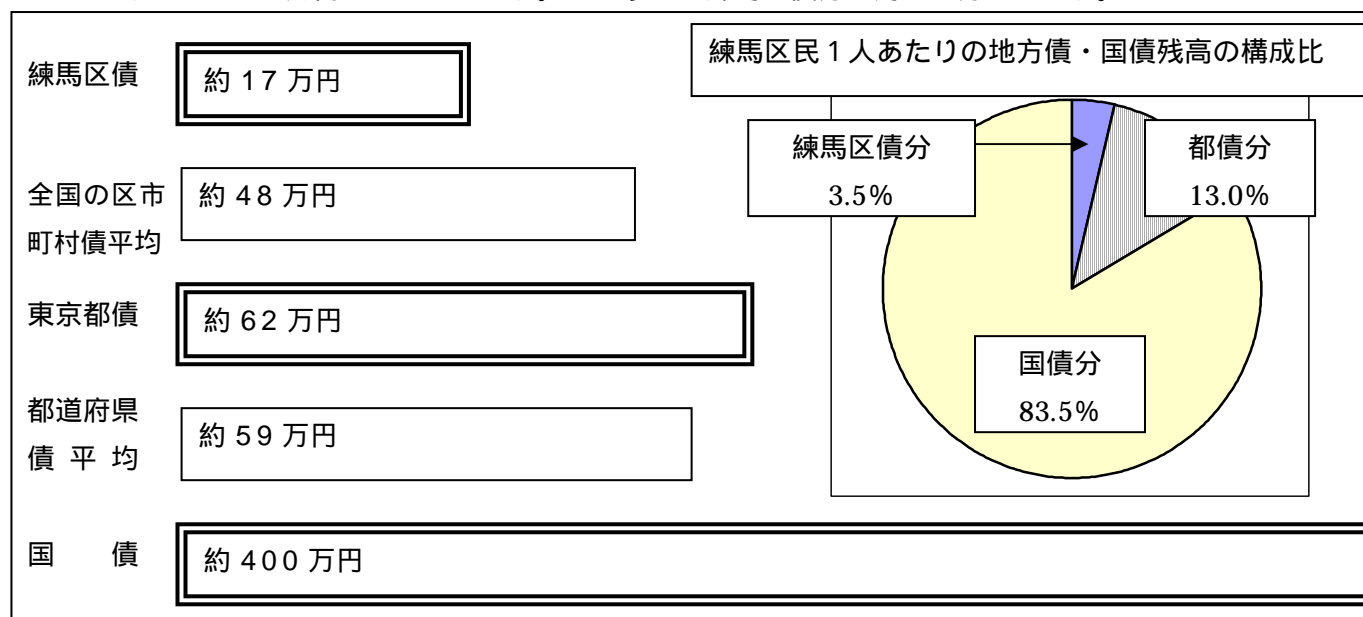
4 起債目的別現在高

区の借金の残高の対象別（目的別）内訳は、下表のとおりです。国の制度減税の影響を補うための減税補てん債のシェア(本文 13 ページ参照)は 30.0%となっています。また、23 区平均（平成 14 年度）と比べてみると、土木債と教育債の割合が高いことが分かります。
(単位：百万円)

目的別（主な対象）	H15 末 残高	構 成 比	
		H15 練馬	H14 23 区平均
【総務・区民・保健・産業経済債】 庁舎、区民ホール、保健所、 石神井公園区民交流センターなど	8,000	7.3%	13.1%
【民生債・福祉債】 福祉園、特別養護老人ホームなど	5,898	5.4%	11.3%
【土木債】 公園や道路など	26,336	24.1%	22.3%
【教育債】 小中学校や図書館、体育館など	36,298	33.2%	24.1%
【減税補てん債など】 (臨時税収補てん債含む)	32,772	30.0%	29.2%
一般会計 合計	109,304	100.0%	100.0%

5 地方債・国債の住民 1 人あたりの残高比較

今、日本は多額の国債や地方債を発行しており、練馬区民 1 人あたりの発行残高を合計すると 479 万円になっています。このうちの練馬区債分は約 30 分の 1 です。

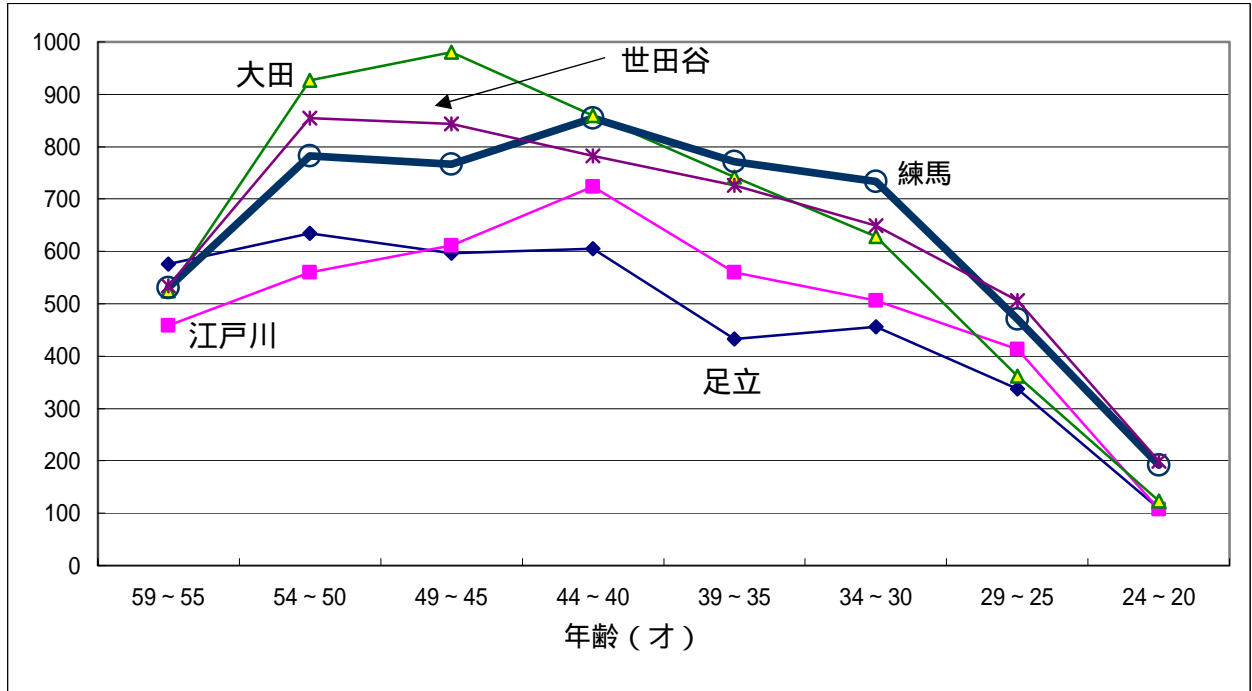


平成 14 年度末における数値です。

6 年齢別職員構成比較 (清掃職員を除く)

下のグラフは人口 60 万人以上の区における、年齢別の職員の人数を表したものです。
 総じて練馬区の職員数はどの年代でも多い傾向にあることが分かります。(平成 15 年 4 月 1 日現在)

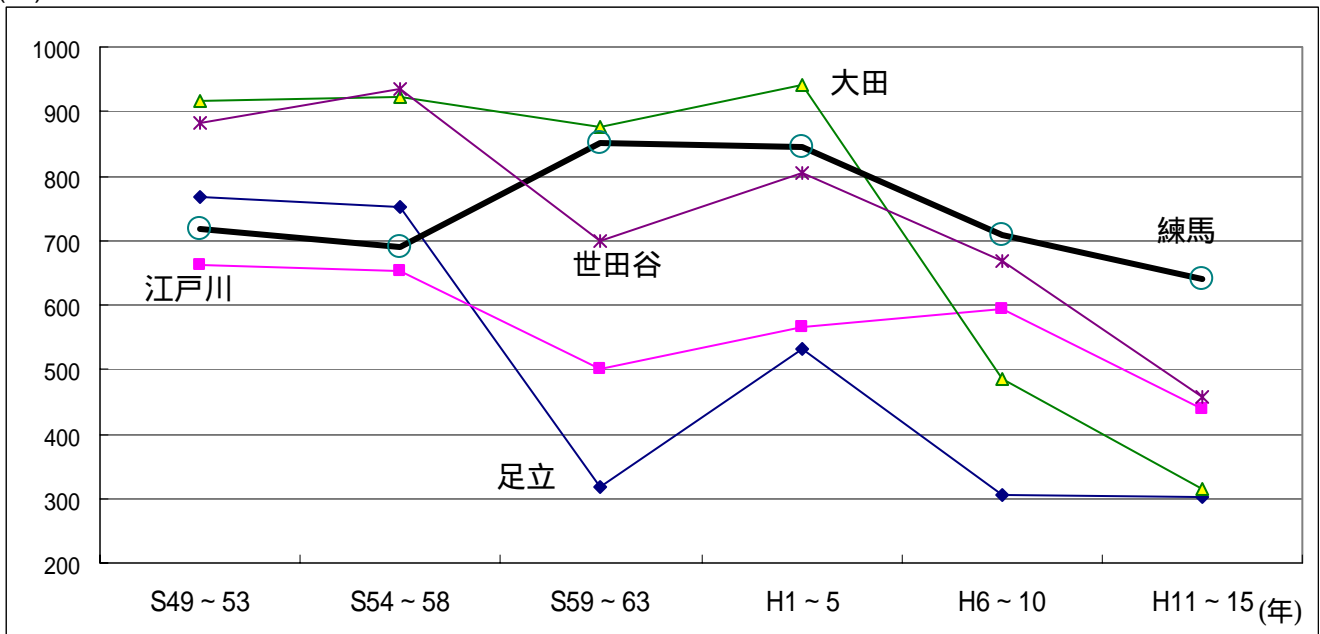
(人)



7 採用年度別職員数の構成比較 (清掃職員を除く)

人口 60 万人以上の区における職員の採用状況について年度別に比較してみました。今後の退職金の急増が大きな問題であることは、本編でご説明しましたが、他区に比べると最近でも新規採用職員数が多いことが分かります。(平成 15 年 4 月 1 日現在)

(人)



人数はそれぞれ 5 年間の合計です。

8 都市基盤整備状況

これまで練馬区では、他区に比べて立ち遅れていた道路や公園などの都市基盤の整備を行ってきました。過去 20 年間の整備状況は以下のとおりです。

年度	道路率	公園	下水道率	区内駅	特別養護 老人ホーム	小中 学校	学童 クラブ	図書館	地域の 施設
~ S59	% 9.37	園 90	% 72.0	駅 15	施設	校 95	所 65	館 4	館 24
S60	9.52	107	75.5			97	71		28
S61	9.63	116	78.5			98	76	6	31
S62	9.77	127	80.5			100	78		33
S63	9.89	135	83.5		1	101	80		34
H元	10.03	145	89.5		2	102		7	35
H2	10.15	164	92.5			103	82		37
H3	10.27	178	94.7		3		79	8	39
H4	10.37	191	96.7	19			80		40
H5	10.49	206	98.1				81		42
H6	10.57	216	99.4		4		85	9	43
H7	10.74	236	100.0	20	6		86	10	46
H8	10.91	253					85		47
H9	11.02	270			7			11	
H10	11.09	284		21	8		86		48
H11	11.19	294			10				
H12	11.25	307			12				
H13	11.28	321			13		87		
H14	11.40	336							
H15	11.51	348			14				49
H16	11.59	356	100.0	21	15	103	87	11	49

- 1 数値はすべて累計（各年度の4月現在）で表示しています。
- 2 道路率 = 道路面積 / 行政面積（練馬区の総面積）× 100 で表します。
- 3 公園は児童遊園を除いた数です。
- 4 地域の施設とは区民館、地区区民館、地域集会所を表します。

9 人口60万人以上の各区バランスシート

人口が60万人以上の区のバランスシート（平成14年度）を比較してみました。

（単位：百万円）

		練馬区	世田谷	江戸川	大田
資産の部	1 有形固定資産	603,747	714,026	531,306	547,289
	(1) 総務費	53,945	64,978	69,670	65,969
	(2) 民生費	38,630	52,089	12,623	82,053
	(3) 衛生費	13,434	5,848	3,445	3,842
	(4) 労働費	803	14	153	189
	(5) 農林水産業費	262	58	96	4
	(6) 商工費	239	716	18	19,131
	(7) 土木費	270,802	419,689	270,904	206,308
	(8) 消防費	1,163	1,997	478	1,308
	(9) 教育費	219,644	168,637	173,877	168,426
	(10) その他	4,825	0	42	59
	(うち土地)	368,364	413,477	233,916	274,305
	2 投資等	37,551	34,762	57,368	19,954
	(1) 投資及び出資金	2,281	3,680	206	1,988
	(2) 貸付金	9,396	6,979	23,966	8,988
(3) 基金	25,874	24,103	33,196	8,978	
特定目的基金	10,798	23,152	18,976	3,846	
土地開発基金	14,950	0	10,000	0	
定額運用基金	126	951	4,220	5,132	
3 流動資産	23,418	30,968	43,635	34,657	
(1) 現金・預金	15,028	21,720	36,878	26,511	
財政調整基金	11,875	8,791	31,049	11,908	
減債基金	0	8,042	0	9,374	
歳計現金	3,153	4,887	5,829	5,229	
(2) 未収金	8,390	9,248	6,757	8,146	
地方税	7,061	8,368	3,997	5,561	
その他	1,329	880	2,760	2,585	
資産合計	664,716	779,756	632,309	601,900	
負債の部	1 固定負債	170,893	161,780	99,460	166,124
	(1) 地方債	102,032	113,236	61,034	104,530
	(2) 債務負担行為	25,952	0	0	0
	物件の購入等	25,952	0	0	0
	債務保証又は損失補償	0	0	0	0
	(3) 退職給与引当金	42,909	48,544	38,426	61,594
	2 流動負債	11,163	12,107	7,737	12,164
(1) 翌年度償還予定額	11,163	12,107	7,737	12,164	
(2) 翌年度繰上充用金	0	0	0	0	
負債合計	182,056	173,887	107,197	178,288	
正味資産の部	1 国庫支出金	33,140	33,836	25,551	22,795
	2 都道府県支出金	28,005	34,244	36,162	12,051
	3 一般財源等	421,515	537,789	463,399	388,766
	正味資産合計	482,660	605,869	525,112	423,612
負債・正味資産合計	664,716	779,756	632,309	601,900	

債務負担行為に関する情報

物件の購入等に係るもの	4,643	16,279	193	16,654
債務保証及び損失補償に係るもの	17,638	30,000	810	9,957
利子補給等に係るもの	7,910	3,556	0	1,120

人口60万人以上の区のうち、足立区は未公表のため掲載していません。

本書をお読みになってのご意見、ご感想などございましたら、下記の担当までお寄せください。

財 政 白 書

「いま」「5年後」「20年後」の財政状況を考える

【発行】 平成16年（2004年）9月

練馬区企画部財政課

〒176-8501 練馬区豊玉北6-12-1

電 話 5984 - 2465（直通）

3993 - 1111（代表）

ファクス 3993 - 1195

Eメール zaisei@city.nerima.tokyo.jp